

懸濁型パクリタキセル+カルボプラチン+ ペムブロリズマブ療法を受けられる患者様へ

この療法について

パクリタキセルとカルボプラチンという
違う作用の抗がん剤を組み合わせる治療です。
従来のパクリタキセルは水に溶かしやすくするために
アルコールなどの可溶化剤を使用しておりましたが、
懸濁型パクリタキセル（商品名;アブラキサン）は
異なる製剤技術により水に溶かすことを可能にした薬です。
ペムブロリズマブ（商品名;キイトルーダ）とは、
がん細胞が自分を守るためにかけている免疫機能の
ブレーキをはずして、がん細胞への攻撃力を高める薬です。
分子標的薬と呼ばれる薬の一つです。

投与スケジュール 今日（ / ）は サイクル 日目

1日目は3種類、8日目と15日目はパクリタキセルのみ投与します。
21日間を一区切り(1コース)とします。

| | | | | | |
|-------------------|-----------|-------------------|-----------|--------------------|-----------|
| 抗がん剤 投与 1日目 | 休薬 6日間 | 抗がん剤 投与 8日目 | 休薬 6日間 | 抗がん剤 投与 15日目 | 休薬 6日間 |
|-------------------|-----------|-------------------|-----------|--------------------|-----------|

1コース目

2コース目

ここに示したスケジュールは参考であり、
患者さんの状態や副作用によって変更することがあります。

点滴で投与する薬について

ペムブロリズマブ (mg) 抗がん剤です。
30分かけて投与します。

↓
デキサメタゾン
パロノセトロン 吐き気止めのお薬です。
30分かけて投与します。

↓
生理食塩液 お薬を洗い流します。
5分かけて投与します。

↓
懸濁型パクリタキセル
(mg) 抗がん剤です。
30分かけて投与します。

↓
生理食塩液* お薬を洗い流します。
5分かけて投与します。

↓
カルボプラチン (mg) 抗がん剤です。
1日目に60分かけて投与します。

↓
生理食塩液 お薬を洗い流します。
5分かけて投与します。

8日目と15日目は*印のお薬を投与します。

内服薬について

| 1日目 | 2日目 | 3日目 |
|---|---|---|
|  |  |  |

吐き気止めのお薬です。吐き気が無くても服用してください。

副作用について

自覚できる副作用

アレルギー反応
急性嘔吐

熱感・かゆみ・動悸などの症状が現れたら、すぐにお伝えください。

遅発性嘔吐
食欲不振
便秘 倦怠感
筋肉痛・関節痛

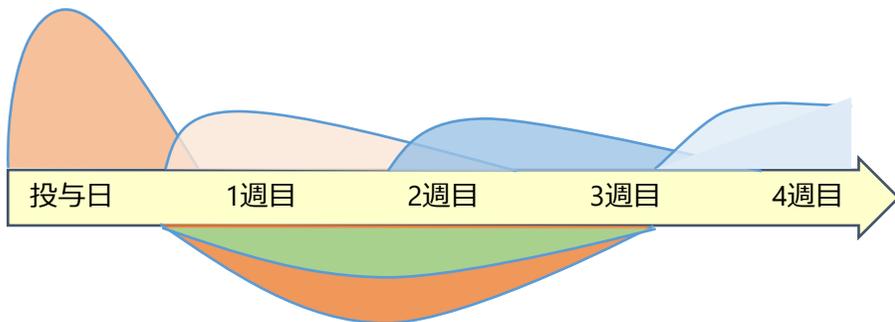
気持ちが悪い時には我慢せずに申し出てください。他にもお薬があります。痛みがひどい場合、痛み止めを使うことができます。遠慮せずに申し出てください。

口内炎 下痢

口内炎・下痢・便秘にはお薬が有効です。遠慮せずに申し出てください。

脱毛
味覚の変化
末梢神経障害

髪の毛は、治療終了後半年くらいで再び生えてきます。手足のしびれ、感覚が鈍くなるなどの症状が現れたら、お伝えください。



肝障害 腎障害

白血球減少
血小板減少

感染予防のため、手洗いうがいをしっかり行いましょう。38℃以上の発熱がある場合は病院に連絡をして下さい。

自覚できない副作用

その他にも気になる症状がありましたら、お気軽に医療スタッフまでご相談ください。

ペムブロリズマブの副作用について

点滴による反応

点滴中や投与後24時間以内に、発熱や寒気などが現れる場合があります。初回に現れることが多いです。熱感・かゆみ・動悸などの症状が現れたら、すぐにお伝えください。

皮膚障害

皮疹・発赤・かゆみなどの症状が現れたら、すぐにお伝えください。

甲状腺機能障害

疲労感・体重の変化・脱毛・悪寒などの症状が現れることがあります。定期的に検査をします。

糖尿病

糖尿病を発症することがあります。

大腸炎

下痢・腹痛・血便などの症状が現れたら、すぐにお伝えください。